

2023年9月19日

## 反論書

神奈川新聞 記者 石川泰大 様

福島市矢剣町1-1-3 星野節子  
024-563-7650

Ameba検索で、「動物の繁殖は虐待」で検索を  
繁殖ゼロで処分ゼロ遺棄ゼロ 産ませる人は殺す人

取り急ぎ、用件のみにて失礼いたします。

貴殿が2019年4月8日に書かれた記事「被告との接見19回、手紙34通、ゆがんだ正義と心の闇」を拝読し、貴殿こそが、『悪い正義、偽善の極み』だと思います。

1、貴殿は、外野から綺麗事を言ってるに過ぎません。

貴殿が、重度知的障害者施設で介護する立場だったとしても、同じことが言えますか？ 貴殿が優しい人ならば、重度身障者施設で働いて、優しく接すれば良いのです。それができないなら意見すべきではありません。

2、答えは現場にあります。現場の苦勞を知らない者が正義を振りかざしてはいけません。

コミュニティに軽度知的障害者が一人いるだけで、そのコミュニティはグチャグチャになります。

私は当時から、この事件には強い関心を持っておりましたが、

軽度知的障害者と、その障害者に対する優越感から仲間になっている者らのせいで7年間も苦勞し、本件に取り組めないでいました。

軽度知的障害者ですら周りに与える悪影響が大きいことからすると、重度知的障害者に囲まれたら、どんな気持ちになるのかを察する想像力が貴殿には欠けています。

3、植松聖さんの主張は障害者差別ではありません。

障害者差別だと思っているとしたら読解力をつけてください。まがりなりにも記者なのですから。

植松さんの主張は障害者の世話をする人(家族・他人を問わず)を救いたいという気持ちであり、税金の無駄遣いを減らしたいということで、今後、日本の課題の中心に置くべき問題です。

4、貴殿は、増税に賛成ですか？

障害者の世話にかかる費用を賄うための無限なる増税に賛成だということであれば、貴殿の主張にも正当性があります。増税に反対の立場なら、貴殿は矛盾を抱えた偽善者ということです。

1996年、旧優性保護法が廃止になり、知的障害のある方が子供を産めるようになり、その弊害が目立ってきています。このままだと、福祉費がますます増大し、増税しても増税しても追いつきません。

5、ある刑事さんが「障害者と健常者は分けて暮らすようにすべき」と仰いました。

事件の現場に立ち会ってきた刑事さんだからこそその重みのある言葉です。

故・石原慎太郎氏は「障害者を十九人殺した相模原の事件。あれは僕、ある意味で分かるんですよ」と。

石原慎太郎氏は口先だけの人間ではなく、現状に即した解決策を講じた人気の政治家。石原慎太郎氏の言葉は重く深い。学生時代に全共闘運動をやっていた被害者遺族とは雲泥の差がある石原慎太郎氏。

6、神奈川新聞は、ヤラセ記事を書く新聞社だということも神奈川県民から聞いております。

マスコミへの評価が極端に低いことは貴殿もご存じのはずです。植松聖さんとのやりとりや論評がヤラセだとは思いますが、貴殿の感性(口だけ優しい偽善者)を軽蔑しております。

貴殿が優しい人ならば、重度障害者施設で働いて、優しく接すれば良いのです。それができないなら綺麗事を言うべきではありません。

7、植松聖さんは社会に一石を投じました。

あの事件がなかったら、知的障害者家族の中に、知的障害者をアカの他人へ押しつけるために施設へ預けたくせに、殺された途端に遺族被害者ぶって、でしゃばってくる者がいることも知りませんでした。

8、知的障害の子供を一人持つ裕福な家庭の主婦が、「いっそのこと、家族全員で一気に死ねたら、どんなに楽なことかと思う」と本音を打ち明けた時に、苦労人の私よりも気苦労が多い人がいる、、と感じましたが、貴殿は綺麗事を並べるだけです。軽蔑します。

優しいことを言う人が優しいのではありません。優しいことを考える人が優しいのでもありません。優しいことをするためのお金を負担する人が優しいのです。優しいことをするための労力を負担する人が優しいのです。